

看護部

理念「信頼される看護」

私たちは、こども病院・感染症センターの基本理念に基づき、子どもの権利を尊重し、患児・家族に信頼される看護を提供します。

看護体制等 : 三交代制及び二交代制(外来・産科)・看護職員総数233名(うち、助産師14名)、有期職員総数21名、リソースナース2名(小児看護専門看護師1名、集中ケア認定看護師1名)

看護基準 : 入院基本料(7対1)、小児入院医療管理料1等

看護方式 : こども病院プライマリ・ナーシング

教育 : 集合教育、研修会への参加等

研究 : 院内研究発表会(年2回)、各種学会発表、誌上発表等

委員会活動等 : 看護部運営・記録・安全管理・感染対策・教育・

学生指導委員会・ワーキング・自主研究グループ等

患者家族支援 : そらまめ会、糖尿病会、育児支援等

その他 : 業務改善発表会、研修生・看護学生の受け入れ、講師派遣等

年間行事 : セブ人会、クリスマス会、お話し会、コンサート会等

小児看護専門看護師

専門看護師制度とは、日本看護協会専門看護師認定審査に合格し、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するため、特定の専門看護分野の知識及び技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としてつくられたものです。子どもやご家族への看護で難しさを感じる時や倫理的な事柄に対して配慮が必要な時などに、スタッフと協働しながら、6つの役割(実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究)を通して、子どもとご家族のケアに役に立つような環境づくりを行っています。



外来

こども病院の外来には、外科系、内科系の診療科がさらに専門分化された18の科に、一日約300人を超える子どもたちが家族に付き添われて訪れてきます。患者さんは福岡市内はもちろん、沖縄や北海道からも来られます。

それぞれの科のスタッフは、外来で治療や検査を受ける子どもたちの健康が早く回復することを願って、安全に、速やかに診療が終わって帰られるよう、温かで細やかな対応を心掛けています。子どもたちの好きなキャラクターのぬいぐるみで案内場所をわかりやすくしたり、待ち時間を快適に過ごせるようプレイコーナーや、ビデオ、絵本などの工夫もおこなっています。

また、自宅で病気の子どものみているお母さんたちの不安や負担を考え、ご家族の気持ちにも心を配るよう努めており、信頼され、安心して受診していただけるような小児の専門外来を目指しています。

手術部

手術部では、年間2000件以上の手術がなされています。手術の前日には術前訪問を行い、手術を受けられる患者さんやそのご家族とコミュニケーションをとって少しでも不安を軽減し、また患者さんの情報を得ることでよりよい手術看護を提供できるよう心掛けています。

私達手術部のスタッフは、患者さんが一日でも早く元気になって笑顔で退院されていくことを願いながら安全・安楽を考え看護に取り組んでいます。

患者様の一日も早い健康回復を願い、小児専門病院として質の高い看護の提供を目指します。

看護方針

1. 子どもたちの生命を守り、苦痛を癒し、成長・発達に応じた看護を行います。
2. 子どもたちひとりひとりの個性を尊重し、QOLの向上をめざして、安全・安楽な療養環境を整えます。
3. 子どもたちの在宅での生活に向けて、入院中からご家族を含めた支援をします。
4. 子どもたちやご家族に安心していただけるよう、やさしく温かい心で看護します。



看護部 / 堀川 生美